

ときわ通信

文責；いわき市立湯本第二小学校長 小川幸一

学力向上の取り組み ～福島県学力調査の結果から～

早いもので、もう1月が終わろうとしています。3学期も残り35日間となりました。

さて、新聞等でもご存知のとおり、このたび、小学校5年生と中学校2年生を対象にした福島県学力調査の結果が公表されました。今回は、福島県として目標値を掲げ、全県体制で取り組んできました。その結果、県の目標値が達成されたのは国語のみで、算数と理科は目標に達しませんでした。詳しくは、裏面をご覧ください。

本校の結果は、福島県の平均正答率を上回ったのは算数のみ。国語と理科はわずかですが県の平均正答率には届きませんでした。昨年からの算数の伸びは大きく、コース別による補習指導が実を結んだようです。本校では、学力充実のために次の三つの点から取り組んでいます。

- 1 1時間ごとの授業の充実 ; めあてとまとめをきちんと整理する。
言語活動(読む、聞く、話す)内容の工夫と時間の確保をする。
個に応じた指導(理解度に合わせた練習問題など)をする。他
- 2 家庭学習の習慣化 ; 学年に応じて家庭学習を励行させる。
宿題の工夫と自主的な学習を促進する。
毎日進んで読書をさせる。
- 3 学習に耐えうる体力の向上 ; 毎朝のランニングを通し、持久力等の体力向上と脳の活性化を図る。

児童の意識調査も合わせて行われました。わからない言葉などは自分から調べたり、自分の気持ちを自分なりの方法で表現したりするなど全国平均を上回る好ましい意識項目も多いのですが、自分で朝起きるとか、家で自分で計画して勉強をするといった自立的、主体的な行動に関する点が全国平均より低く、学校及び家庭での今後の課題であることがわかりました。

福島県は被災県の中でも原発事故からの復興という難題を抱えています。本県の復興には今の子ども達の力が大きな鍵となります。子ども自身の将来のためにも、本県の復興のためにも、確かな学力を身につけさせ、子どもの持てる力を伸ばすことが本県の一番の教育課題であります。

これからも、学校と家庭が連携して子どもたちの力を伸ばしていきたいと思っておりますので、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。特に「みんなで育てるゆもとっ子」の実践にご協力を！

～ 2月の行事予定 ～

3日(水)	節分集会	18日(木)	全校学力テスト	5・6年放射線教育
9日(火)	新入学児童保護者説明会	19日(金)	集金日	5年生ワックスかけ
11日(木)	建国記念の日	22日(月)	学校評議員会	
12日(金)	お弁当の日	23日(火)	5年生幼稚園児との給食交流	
	P T A 専門・常任・本部役員会	26日(金)	お弁当の日	授業参観
16日(火)	鼓笛引継ぎ式		入学説明会	中学校 3年生防火教室